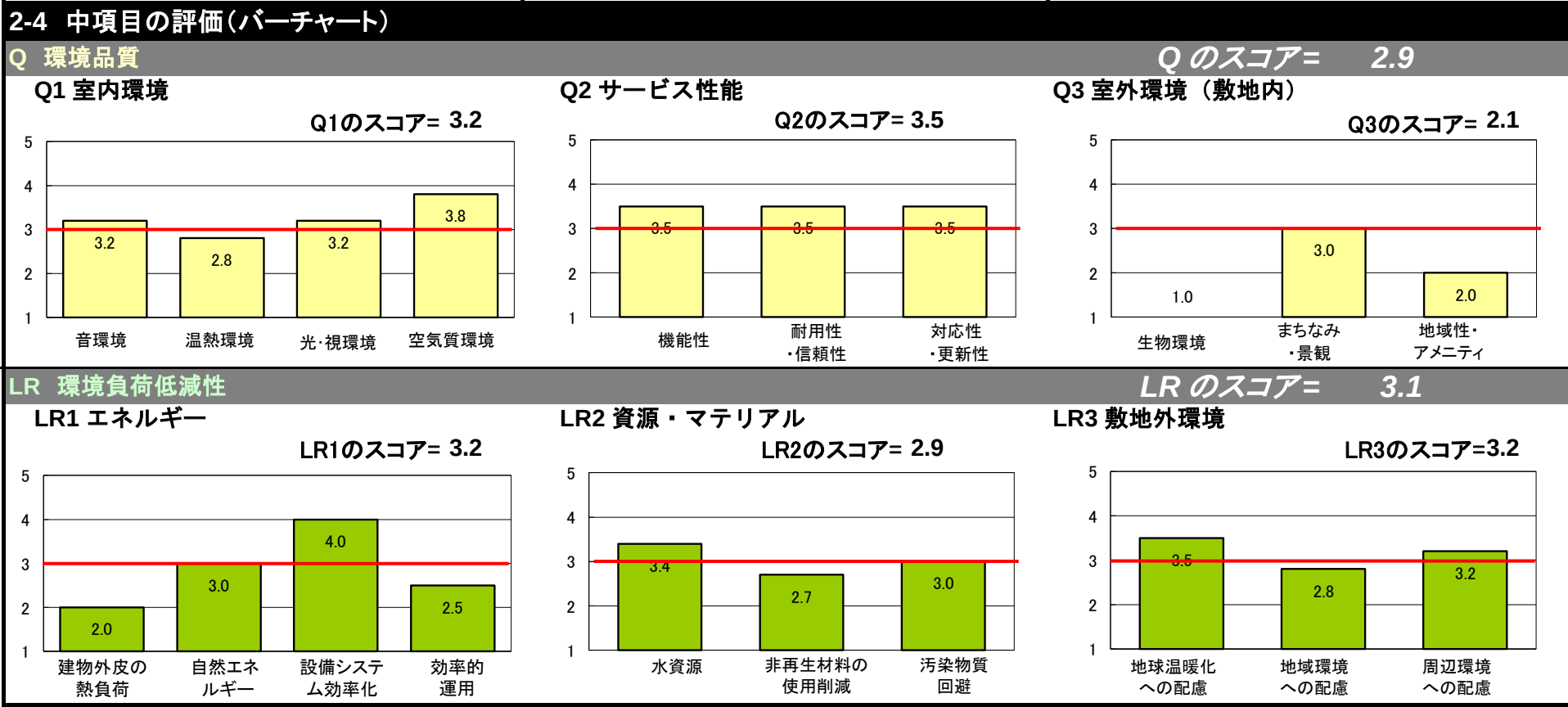
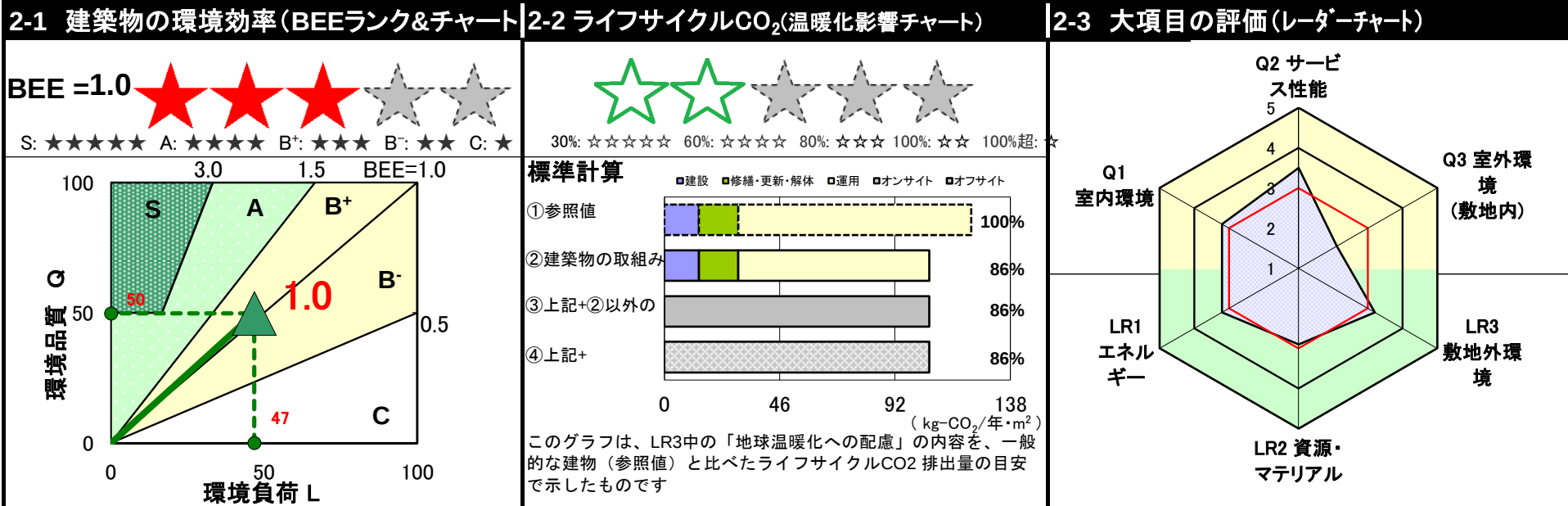


CASBEE® 熊本《新築》 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	熊本県医師会館	階数	地上6F
建設地	熊本県熊本市	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	548 人
気候区分	6地域	年間使用時間	9 時間/年
建物用途	事務所、集会所、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2016年2月1日
敷地面積	1,545 m ²	作成者	木村 健志
建築面積	1,115 m ²	確認日	2014年2月10日
延床面積	4,895 m ²	確認者	木村 健志



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2014年版 熊本県医師会館			欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2014年版 ■評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)					
スコアシート 実施設計段階										
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
					評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質									2.9	
Q1 室内環境						0.40		-	3.2	
1 音環境					3.2	0.16	-	-	3.2	
1.1 騒音					3.0	0.40	-	-		
1.2 遮音					3.0	0.40	-	-		
1					開口部遮音性能	3.0	0.63	3.0		-
2					界壁遮音性能	3.0	0.37	3.0		-
3					界床遮音性能(軽量衝撃源)	3.0	-	3.0		-
4					界床遮音性能(重量衝撃源)	3.0	-	3.0		-
1.3 吸音			天井に石膏ボード系吸音天井材使用		4.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境					2.8	0.36	-	-	2.8	
2.1 室温制御					2.7	0.50	-	-		
1					室温	3.0	0.38	3.0		-
2					外皮性能	2.0	0.24	3.0		-
3					ゾーン別制御性	3.0	0.37	-		-
2.2 湿度制御					3.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式					3.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境					3.2	0.23	-	-	3.2	
3.1 昼光利用					3.0	0.30	-	-		
1					昼光率	3.0	0.60	3.0		-
2					方位別開口	-	-	3.0		-
3					昼光利用設備	3.0	0.40	3.0		-
3.2 グレア対策					2.0	0.30	-	-		
1					昼光制御	2.0	1.00	3.0		-
3.3 照度					3.0	0.15	3.0	-		
3.4 照明制御			1作業単位での点灯、消灯可		5.0	0.25	3.0	-		
4 空気質環境					3.8	0.26	-	-	3.8	
4.1 発生源対策			F☆☆☆☆の積極的な採用		4.0	0.50	-	-		
1					化学汚染物質	4.0	1.00	3.0		-
2			アスベスト対策	-	-	-	-			
4.2 換気					3.3	0.30	-	-		
1			換気量	中央管理方式の空調設備：30m3/h人以上		4.0	0.35	3.0		-
2			自然換気性能			3.0	0.31	3.0		-
3			取り入れ外気への配慮			3.0	0.35	3.0		-
4.3 運用管理					4.0	0.20	-	-		
1			CO ₂ の監視			3.0	0.50	-	-	
2			喫煙の制御	建物全体が禁煙：喫煙室なし		5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.5	
1 機能性					3.5	0.40	-	-	3.5	
1.1 機能性・使いやすさ			コンセント容量：50VA/㎡以上		3.6	0.40	-	-		
1					広さ・収納性	3.0	0.31	3.0		-
2					高度情報通信設備対応	5.0	0.31	3.0		-
3			バリアフリー計画	3.0	0.39	-	-			
1.2 心理性・快適性					3.9	0.30	-	-		
1			広さ感・景観	天井高：2.7m以上		4.0	0.31	3.0		-
2			リフレッシュスペース	リフレッシュコーナー＋自販機有		5.0	0.31	-	-	
3			内装計画			3.0	0.39	-	-	
1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-		
1			維持管理に配慮した設計			3.0	0.50	-	-	
2			維持管理用機能の確保			3.0	0.50	-	-	
3			衛生管理業務			-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性					3.5	0.30	-	-	3.5	
2.1 耐震・免震			重要度係数：1.25倍		3.8	0.50	-	-		
1					耐震性	4.0	0.80	-		-
2					免震・制振性能	3.0	0.20	-		-
2.2 部品・部材の耐用年数					3.3	0.30	-	-		
1			躯体材料の耐用年数			3.0	0.20	-		-
2			外壁仕上り材の補修必要間隔			2.0	0.20	-		-
3			主要内装仕上り材の更新必要間隔			3.0	0.10	-	-	
4			空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外露出ダクト：ガルバリウム		4.0	0.10	-	-	
5			空調・給排水配管の更新必要間隔	主要用途上位3種（給水・汚水排水・雑排水）の2種以上にB以上を使		5.0	0.20	-	-	
6			主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	耐震クラスA 浸水の危険なし(地上設置)	3.4	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		4.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		4.0	0.20	-	-	
	3 対応性・更新性			3.5	0.30	-	-	
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	階高:4.5m以上 壁長さ比率:0.28	4.5	0.30	-	-	
	2	空間の形状・自由さ		5.0	0.55	3.0	-	
				4.0	0.45	3.0	-	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
	3.3 設備の更新性			3.2	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性		2.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		5.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		5.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
	Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.2	
1 建物外皮の熱負荷抑制			2.0	0.20	-	-	2.0	
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 0.82 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.50	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)			BEIm=0.82	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)				-	-	-	-	
4 効率的運用				2.5	0.20	-	-	2.5
集合住宅以外の評価				2.5	1.00	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				2.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			自動水栓、節水型器具	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1			雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	
2			雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.7	0.60	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減			—	3.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				外壁:躯体+軽鉄+仕上材	4.0	0.22	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	
1			消火剤	-	-	-	-	
2			発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50	-	-	
3			冷媒	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			LCCO2が一般的な建物と同等	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮				2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止			燃焼機器使用なし	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.3	0.25	-	-	
1			雨水排水負荷低減	-	-	-	-	
2			污水处理負荷抑制	3.0	0.33	-	-	
3			交通負荷抑制	3.0	0.33	-	-	
4			廃棄物処理負荷抑制	1.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1			騒音	3.0	0.50	-	-	
2			振動	3.0	0.50	-	-	
3			悪臭	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1			風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
2			砂塵の抑制	1.0	-	-	-	
3			日照阻害の抑制	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	
1			屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	5.0	0.70	-	-	
2			屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

- ・人にやさしく安全な会館
- ・県民に対して情報が発信できる会館
- ・周辺環境との調和がとれた会館

Q1 室内環境

- ・天井に石膏ボード系吸音天井材、床にカーペットタイルを使用し吸音性に配慮した。
- ・ビル管法に準拠し、室温、湿度、新鮮空気量等に配慮した。

Q2 サービス性能

- ・天井高さを2.7m以上とし、心理・快適性の向上に配慮した。
- ・階高を4.5m以上とすることで、将来の更新性等に配慮した。
- ・重要度係数1.25倍とすることで、建物自体の信頼性に配慮した。
- ・情報通信機器を地上階に配置することで、浸水の危険性がないよう配慮した。

Q3 室外環境（敷地内）

- ・集会所を設けるなど、県民に対して情報発信の場となるよう配慮した。

LR1 エネルギー

- ・高効率型空調機を採用するなどして、省エネルギー性に配慮した。

LR2 資源・マテリアル

- ・自動水栓、節水型便器を採用するなどして、水資源保護に配慮した。

LR3 敷地外環境

- ・オール電化設備とすることで、燃焼器具を設けず、大気汚染防止に配慮した。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 **熊本県医師会館**

■評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル：CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本県重点評価結果					総合評価点	75
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目（配慮項目）		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進						
Q1-2.1.2	外皮性能	2.0	0.06	76.1	0.40	30.44
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	2.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	2.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	3.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現						
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25	65	0.20	13.00
Q2-2.1.1	耐震性	4.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全						
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.29	85.7	0.20	17.14
LR2-1.1	節水	4.0	0.43			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.29			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.00			
④ 循環型社会の実現						
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.3	0.30	73.5	0.20	14.70
Q2-3	対応性・更新性	3.5	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
※重み係数の総和は、「1」であること。
※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数